

ここでは、各ソフトウェアの動作や通信異常時に弊社へお問合せする上で調査に必要なログや設定データの取得方法などをまとめてあります。必要に応じてサポート対応時にデータを確認または準備してください。

ソフトウェアの種類によっては各項目が異なる場合は、ソフトウェアCD添付のオンラインマニュアルにてご確認願います。




## UNIX・Linux版の場合

(インストールパス `/usr/ups` の場合)

項目	内容
<code>/.upspasswd</code>	ソフトウェア ライセンスファイル シリアル番号
①OSのシスログファイル <code>/etc/syslog.conf</code> ファイルに設定されているシスログ ファイル	OS の起動や終了、動作の環境上記録 されるログ
② <code>/usr/ups/bin/upslog -ver</code> の実行結果 <code>/usr/ups/bin/upslog -ver -dev N</code> (監視番号)	監視機器(UPS)の情報 (H-07-N**2の場合) -dev オプションでUPS番号を指定してく ださい。
③ <code>/usr/ups/bin/upslog -lin</code> の実行結果 <code>/usr/ups/bin/upslog -lin -dev N</code> (監視番号)	計測値、ステータスログ (H-07-N**2の場合) -dev オプションでUPS番号を指定してく ださい。
④ <code>/usr/ups/bin/upslog</code> の実行結果 <code>/usr/ups/bin/upslog -dev N</code> (監視番号)	
⑤ <code>/usr/ups/bin/upslog -ev</code> の実行結果	upsd プロセスのみのシスログ表示
⑥ <code>/usr/ups/lib/upstab</code> ファイル(ソフトウェアの設定 データ)	設定データ
⑦スケジュール設定データ(ファイルが存在しない場 合あり) <code>/usr/ups/lib/daily.dat</code> <code>/usr/ups/lib/monthly.dat</code> <code>/usr/ups/lib/weekly.dat</code> または、 <code>/usr/ups/lib/schedule.dat</code>	スケジュール設定データ
⑧ <code>/usr/ups/bin/upsrc</code> または <code>/usr/ups/bin/upsrcpl</code>	実行レベルスクリプトファイル
⑨ <code>/usr/ups/lib/multi-ups.conf</code>	H-07-N**2の場合 UPS監視リストファイル

Windows版の場合

(インストールパス c:\¥powermgr の場合)

項目	内容
 ①動作条件設定 ツール「ライセンス」ページ	ソフトウェア ライセンス情報 シリアル番号
 ②「スタート」メ ニューより「コントロールパ ネル」「管理ツール」「イベ ントビューア」	「イベントビューア」を起動します。 ログの種類で以下3種類あります。各イベントログを表示後、メ ニューより(「操作」「ログファイルの名前を付けて保存」を選択)各 イベントログを <b>TXTファイル形式で保存してください</b> 。(evtファイルで 保存した場合、他のコンピュータで閲覧できない場合があります。)
 ③計測ログの取得	ソフトウェアのメニューから「ログ管理」を起動します。メニューより (「ログ(CSV形式)、ログ」)を選択、表示させます。「ファイル」より 「名前を付けて保存」で各計測ログをファイルに保存してください。 計測値ログの表示は2種類あります。2種類とも保存してください。
④INIファイルデータ	ソフトウェアの種類、バージョンにより下記のファイルがない場合が あります。 MULTIUPS.ini(監視設定ファイル) LICENSE.ini(ライセンス情報) UPSTAB.ini(設定データ) MSG.ini(イベントメッセージデータ) SCHED.ini(スケジュール設定データ)

(注意) iniファイルがソフトウェアの各動作に関連しているファイルになります。このファイルを直  
接変更はしないでください。